

真盛園運営方針

1. 人間平等の原則の上で立つての福祉の増進
2. 宗教的雰囲気の中での心の安らぎ
3. 恵まれた自然環境の下での健康保持

平素は、社会福祉法人真盛園に対して絶大な御協力を賜わり厚くお礼を申し上げます。本年で設立64周年を迎える事になりました。設立当初は生活困窮者の為の養老院からの出発で滋賀県下でも数少ない福祉施設でありましたが、今日、高齢化社会が進むにつれて、その時代のニーズに応えるべく施設充実を図ってまいりました。之偏に関係各位の御支援のお蔭であります。しかし高齢者人口はますます増え続け、平成35年(2025)には団塊の世代が75歳以上、約2,179万人が後期高齢者となります。また、65歳以上の高齢者人口の割合が30.3%に達し、現役世代(15歳~64歳)が減少となります。高齢者になって健康で元気で社会に役立つよう心がけを持つことが大事です。私は今年で82歳(昭和8年生)になりますが、毎日を充実した生活を送るためにも目標をもって充実感を味わっています。高齢者は高齢者の役割をもつて貢献していくそれが健康の源であると思います。しかし、高齢が進むにつれて、健康の不安、体力の劣れ、そして病氣等必ずやってきます。その時に迷う事無く対応できることも大事であり、その為に平常の生活が大事であるとも思っています。しかし、介護を必要となった時は介護施設は欠かすことが出来ません。求められる介護施設として真盛園は高齢化社会に即応した施設の運営と老朽化した建物の改善を目指して取り組んでいく所存でありますのでより一層の御協力をお願いする次第です。



社会福祉法人真盛園
理事長 川合 歳明
(天台真盛宗事務総長)

高齢者になっても充実した生活を

新法人役員紹介

◎第2回 評議員会

第2回評議員会11月26日開催。理事欠員に伴ない後任を選任する案件で永年理事として会計事務、税務指導を御指導頂いた、田中忠雄理事が去る8月20日に御逝去されたので、その後任として枝久夫評議員が理事に選任された。

■新理事



枝久夫氏
(社会福祉法人真盛園家族会役員)
(前特別養護老人ホーム真盛園入所判定委員)

◎第3回 理事会

第3回理事会が11月26日開催。枝久夫評議員が法人理事に選任されたのに伴い、その後任として井上俊生氏を評議員に選任された。

■新評議員



井上 俊生氏
(前大津市副市長)
(元大津市社協福祉事業団 理事長)
(元大津市福祉保健部長)

デイサービスセンター真盛園

デイサービスセンター真盛園は平成4年3月に開所して、今年で23年になります。当初は介護保険ではなく大津市からの申し入れで利用となっていました。平成12年より介護保険が導入され、利用者様が選択できるように制度が変わりました。

デイサービスとは昼間に日帰りで利用できる通所介護サービスのことです。家に一人であるのも暇だな、楽しみや生きがいを見つけたいといった社会的な交流の場であったり、家のお風呂はバリアフリーでない、手足が動きにくくなってきているので、介護の専門家が見守ってくれたらな、気分を変えて自宅以外のお風呂に入って気分転換をしたい等のニーズに応えるように入浴サービスがあります。また、本人様が利用することで家族様の身体的、精神的な介護負担の軽減にもつながったり、他利用者様やスタッフとの交流等により刺激を得ることで、認知症の進行を緩和するという役目も担っています。

真盛園では、1日25名の利用定員で落ち着いた居心地のいい環境を一人一人の個性を大切に、おもてなしの心でお迎えするように努めています。まずは看護師により健康チェックから始まり午前中は個人作品づくりや入浴、体操といったプログラムの中で本人様のその日の体調に合わせて、自身のペースで過ごしていただき、昼食後はレクリエーションを中心に身体を動かしたり、時にはカラオケをしたりと自宅ではできないデイサービスならではのプログラムを用意しています。また、昼

食についても委託や弁当ではなく、調理員が毎日、栄養面を考えて、その日に作っており、四季に合わせた料理を提供しています。

季節にあわせるのは料理だけでなくプログラムにも取り入れ、12月には「年忘れお楽しみ会」としてビンゴ大会を行いました。週1回利用の方もいれば、毎日利用の方もおられる中、手袋や帽子、肩たたき器等の景品が当たり利用者様には喜んでいただき、大いに盛り上がりました。

また、真盛園がこの坂本の地でさせていただけるのも地域の皆様があつてこそだと思っています。登録利用者様だけでなく、先日は千野の老人会様にデイサービス職員2名がおじゃまさせていただき、介護予防につながるレクリエーションを行いました。約30名とかなりの大人数でしたが、このように出向かせていただき、地域の活性や介護予防について一躍担う役割も社会福祉法人として必要と考えています。

これからも地域の方が安心して暮らせるように出来るだけのニーズに応えていけるような、「あ~ここに来て良かった。」と言ってもらえるようなデイサービスを目指していきたく思っておりますのでどうぞよろしくお願い致します。



デイサービス内のビンゴ大会



出前講座 雄琴学区 千野 千寿会老人クラブ・レクリエーション

《デイサービスセンター真盛園 一日の流れ》

- 8:30 送迎
- 9:30 健康チェック(検温、血圧測定等)、入浴
- *個人アクティビティー等*
- 11:30 体操(手足や口腔等)
- 12:00 食事(食事形態は状態に合わせてお粥や刻み食等も提供できます。)
- 13:00 レクリエーション(体調に合わせて静養もできます。)
- 14:30 おやつ時間(おやつは日替わりで提供し、飲み物はコーヒー、紅茶、昆布茶等から好きな物を選んでいただき提供します。)
- 15:40 送迎 又はレクレーションや談話、アクティビティー等で過ごす。
- 16:40 送迎

編・集・後・記

今年の正月は2日、3日と大雪で朝から雪掻きを何十年振りに致しました。屋根の雪下ろしの事を思うと、境内の雪掻きぐらゐと思つていましたが、若い時と違って、2、3日してから足、腰、腕が痛く、これも歳の所為だなあと感じた次第です。

本年は介護報酬の改定の年、年々増収する介護報酬、法人の内部留保が多すぎる、また積立金が多いとの事から2.27%(実際は4.48%)が下がることに決まりました。まだ試算はしてないが当園に於いてもかなりの減収であります。どこの介護施設でも人材不足で困っています。職員の出遇改善で月1万20000円のUPで処遇したと言っているが、これは加算を条件として、条件が満たさねば処遇改善も入ってきません。介護施設は今までも、世の景気が悪ければ介護施設に人材がいっぱい集まります。世の景気が良ければ人材が集まりません。離職者も多くなります。これが介護施設の悩みです。福祉現場は生産を生むのではなく、人と人、人力によって現場が成り立っています。介護報酬の値下げ、人材不足等の二重の痛手でこれからの福祉施設の展望はどうなるだろう。そして、高齢者人口が増え、認知症徘徊、独居老人、介護老人が増えます。それに介護のために職を辞めなければならぬ人が増えつつあることを考えると介護をする家族の支援も大事であります。

(前阪良憲記)

滋賀県社会福祉協議会 会長表彰

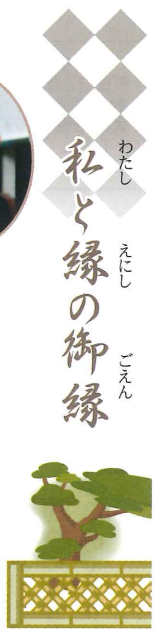


当日は川合歳明理事長が出席していただき感謝状を受賞して頂きました。

平成26年度滋賀県社会福祉事業功労者表彰式が10月30日(木)ロイヤルオークホテルで行われました。今年度より地域福祉活動の推進に貢献された社会福祉法人に対して「感謝状」が創設されたのをうけ、真盛園が受賞しました。



「老いも若きも」地域貢献活動の様子



わたし 私と縁の御縁

常務理事兼総合園長
前阪 良憲

私はこれまでに縁という御縁に3回深い関係を頂きました。平成26年9月1日滋賀県社会福祉協議会内に滋賀の縁創造実践センターが設立されました。「おめでとう」と誕生を祝福され「ありがとう」と看取られる地域づくりであります。制度の対象にならずに困っている人々、社会から孤立している人、支援が届かない人に対して支援や居場所づくり等実践する組織です。

滋賀県内の社会福祉法人施設、市町の社会福祉協議会、更には、賛同する各福祉団体が寄り集まる組織であります。今、社会福祉法人が、大きく見直されていることを考えると、まさに当を得た制度で国は、社会福祉法人に対して、社会貢献、地域活動を強く求められています。と、福祉先進県として全国に先駆けた制度であります。糸賀一雄先生の、生誕百年の大きな節目に「自覚者が責任者である」という先生の思いを共有し、多くの福祉の皆さまと共に努力していきたい気持ちです。



写真は「老いも若きも」の皆様

理事に就任致しました。縁実践センターが制度の狭間における人の、手助けになるよう光を当てていきたいと思っております。また、平成17年11月16日、17日に第39回全日本仏教徒会議滋賀大会が天津プリンスホテル・びわ湖ホールで、全国から約3000名の方の参加のもと大会が開催されました。その時の大会テーマが「出会いの縁を生き、伝えるわれら」琵琶湖の美しい湖・地球は青い水の星、生命にとって欠かすことの出来ない水は、いのちのみなもです。生命の誕生、そして進

山本そば粉様 地域振興賞 受賞



平成26年9月7日(日)第28回公益財団法人ハシ六文化振興財団 地域振興賞に山本そば製粉様が受賞されました。真盛園にお蕎麦の訪問を今年度で22年目になります。いつも、ありがとうございます。



山本社長と社員のみなさま

今年度も秋晴れの中秋28日(火)毎年恒例お蕎麦の訪問にきていただき、利用者、職員にお蕎麦を振る舞っていただきありがとうございました。

化を繰り返し、文明の火を灯し、進歩してきました。あらゆる生命が共存する地球は人類の歴史と共に大なる環境の変化をもうしています。人類を中心とする生き方、地球環境を破壊することとなり、素晴らしい星は、今大変苦しんでいます。そして、テロや戦争、地域紛争は絶えることなくつづいています。人間が人間の生命を奪い取るという悲しい出来事。私たちは仏の慈悲と共生の心を生きる人達に伝え、私たちはひとりひとりが真剣にかつ信念に満ちた活動を実践していくことを宣言して大会を開きました。まさに「縁を生き」未来に向けて真剣に考え、滋賀県大津から世界平和を呼びかけました。図らずもこの大会の事務局長として大会を取りしかりました事、今となつては私の一生のうち大きな仕事でありました。

更に今から40年前の事、昭和46年頃(1971)坂本西教寺に勤務していた頃の話です。一人の女性と巡り合わせました。その女性は作家の三浦綾子氏でありました。「細川ガラシャ夫人」の小説を書く為に、明智光秀の菩提寺に取材に来た時です。西教寺と光秀との関係の取材を受け、西教寺を案内した事を思い出します。この小説は、主婦の友社から昭和50年(1975)に発行されました。小説は26説から成り立ち、光秀の生き方が描かれていると同時に細川ガラシャ(幼名玉子)の一生が描かれています。そのなかで(四)「鉦の音」の説に西教寺の不断念仏の鉦と光秀が西教寺へ参拝されている心情が、(五)「縁」には玉子が西教寺で遊んでいる様子から光秀のとりまきの武士達、光秀がわが子(玉子)を細川家へ嫁がせる心情が書かれています。その縁が縁となつていきます。



滋賀の縁創造実践センターが確実に成果を上げて糸賀一雄先生の「この子らに光」の如く、おめでとうからありがとうございますまで社会をつくつていきたいと思います。お次第です。

秋まつり



午後から秋まつりが開催されました。普段あまり外に行かない利用者さんが和菓子や焼きたての焼いも、飲み物などを召し上がられました。養護の利用者さんの太鼓の発表、職員から世界チャンピオンの花澤さんによる演武、「真龍会」太鼓クラブによる太鼓の演奏をご覧になり、迫力ある演技に「ガンバレ」とつい大声を出されるほど、利用者さんの素敵な笑顔がたくさん拝見させて頂く事ができました。



利用者のみなさま 真龍会のみなさま ロンドン大会世界チャンピオンになった花澤善道氏の演武

お世話になった 理事 田中忠雄氏 ご逝去



田中理事には平成4年より社会福祉法人の役員として監事、理事として約22年間勤めていただきました。去る平成26年8月20日大津市赤にて薬石効なく逝去されました。当園では法人全般にわたつての助言、御指導、会計事務の効率化や、平成12年から介護保険施行に伴ない、新制度の御指導頂きました。ここに厚くお禮を申し上げ、謹んで哀悼の意を表する次第です。告別式に当つてお孫さんの田中裕之さんがおじいさんに心のこもつたお言葉がありましたので、ご紹介を申し上げ、田中理事さんのその人柄の一端が御家族にも、しみじみと感謝されていたことが伝わつてまいります。

「輝く光となりこれからも見守ってください」
税務署に勤めていた祖父は、税理士として独立し、80歳を越えても元気に働き続け、生涯現役を貫きました。きちんと整理整頓された書類の数々が、几帳面で真面目な祖父を物語り、誠を尽くした道に、尊敬の念がこみ上げます。
そんな長年の功績が認められ、瑞寶雙光章を賜つたことは祖父はもとより家族皆の誇りであり、共に喜んだ日々が懐かしく思い出され、訪れた別れの寂しさもひとしおです。

祖父には通勤電車が出発、小さなお友達がいまも。その幼稚園のお子さんと、毎日顔を合わせているうちに、いつしか仲良く二人の温かな交流が生まれ、周囲の方々からも微笑ましく思われるようなエピソードに、優しい祖父の人柄が偲ばれます。振り返れば、孫の私達はもちろん、ひ孫まで可愛がってくれた祖父、まもなく誕生する新しい命と対面出来なかったことが残念でありませんが、今はただ、心からのねぎらいと感謝を込めて、見上げてきた大きな背中に別れを告げます。

平成26年8月20日、皆の胸に温かな面影を残し、祖父 田中忠雄は、89年の生涯を閉じました。
生前祖父と共に歩んで下さった皆様へ深く感謝申し上げます。
喪主 田中裕之

平成26年度 職員表彰者

- 平成26年度 大津市社会福祉大会における
大津市社会福祉協議会
会長表彰
社会福祉法人真盛園 役員監事 辻喜美子
デイサービスセンター 課長 高橋清志
養護老人ホーム 課長補佐 原健
総務部 調理室 調理師 橋本明代

平成26年度 滋賀県老人福祉施設協議会 会長表彰

- 調理室 管理栄養士 課長 澤田早苗
調理室 田中依加
特別養護老人ホーム 介護支援専門員 東美枝子
シヨートステイ 主任 浦野彬博
特別養護老人ホーム 主任 石本勝弘
訪問介護事業所 主任 川縁愛美
特別養護老人ホーム 副主任 高坂雄紀
デイサービスセンター 副主任 前川紀子
訪問看護ステーション和顔 副主任 西沢知子
特別養護老人ホーム 介護職員 垣添晴子
養護老人ホーム 介護職員 石本優子

- 平成26年度 一般財団法人
滋賀県民間社会福祉事業職員共済会
永年勤続会員表彰
特別養護老人ホーム 主任 樋口智子